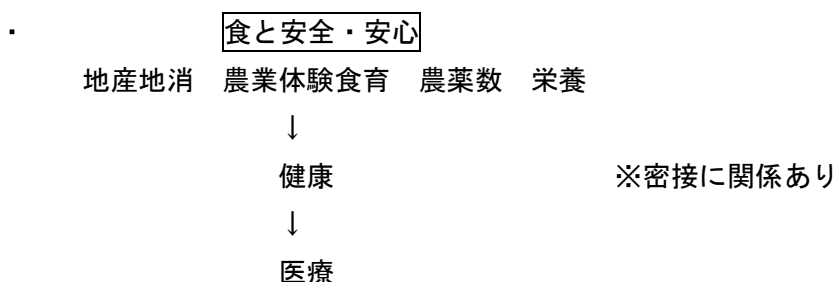


食の安全・安心意見交換会 意見集計(傍聴者)

- ・食の安全安心について法令省庁地方自治体県政令都市市町村の機能役割監査監視指導（生産者製造者業者流通）について市民にわかりやすく説明する。小生の処にある情報資料も各省庁県市から情報発信されているムダが多い。アクションプランの推進について、市民ボランティアによる生産者製造（工場）流通業者の現場視察会を開催したらどうか。市民退職者で優秀な知識能力を持っている方がいます（業務監査）食品スーパー、朝市、魚市場等を多く歩くと疑問点、問題点が見えて来ます。取り組み状況報告についてわかりやすく（目標、実施、成果、評価課題等わかりやすく）食の安全安心に対するリスクコミュニケーションの充実を提言させていただきます。市民病院にお願い、栄養士の講習会勉強会の開催（特に塩分の摂取の判断等について）
- ・エコファーマーの意味がよく分からない。化学肥料低減だけですか？どれだけ低減しているのか分からない。農薬を使用していいのか？消費者としては非常にまぎらわしい表示です。ＪＡＳマークのように明確にしていきたい。少しいろ農薬や化学肥料を使ってもエコファーマーと言って安全なイメージを出して販売をする事はやめていただきたい（アクションプランの用語の説明を見て）
- ・過去問題になりマスメディアで取り上げられたもので、その後の新しい事実がわかって安心安全上問題がなくなったものを紹介してほしい。セミナーなどで知ることができたが一般には知らされていないのはどうかと思うが国の対等かもしれないが…。地産地消と安全安心な輸入品はあり、２本柱で進める必要がある。県内、国内だけでは将来共まかなえないので、上手にグローバル化を進めるべき（人、技術、食料、エネルギー、資源）良い輸入品の促進と紹介。国策としてか…地方独自でできないか（行政チェックをえて）本日の交換会は勉強していないのでむづかしい、しかし自分の関心あるのみ勉強できた。
- ・「静岡市食の安全・安心アクションプラン」の表紙の写真は、食品メーカーのＰＲパンフレットのような印象。健康増進という目的意識は感じられない。岡崎氏の質問に対して、子供向けイベントの先着順では公平性に欠けると思う主催者側の手間はふえるが抽選制を取り入れるべきでは？岡崎委員市川委員の意見は同感。尊重していただきたい。
- ・最近のいろいろな恐ろしい事件（人殺し）が若い人達が加害者であり、毎日人殺しがメディアをにぎわしている切れる若者又わけのわからない治療もわからない病気が非常に多い、私は前々から思っているのですが食べものが原因ではないかと思います。農薬、食品添加物栽培の仕方…大量生産、大量消費、大量廃棄にあると思います。今ここでもっと

もっとしんけんに考えなくてはいけないと思います。もう一度原点に戻って未来の子供達が安心して成長していくことを祈ります、食は命です。今日いただいた冊子の表紙の写真少し変ですね私も思いました。もっともっと静岡市のお茶お米野菜煮物（地産地消）を使って食べてほしいと思います。地元のものをもう少し安く買えたらなと思います。先日由比のさくらえびの（静岡市内）かき揚げを買いました、1枚500円にびっくりしました。地産地消が安全かという疑問です、びっくりするほどの農薬価格の問題もっともっと一般の人の意見をきくべき、毎年毎年いつも一緒の人達が意見を言っている感じ。



海野俊也委員の⑧22年度新規事業がないのはなぜ？

食育→健康→医療 この3拍子が学べないと本物の食と安全・安心に繋がらない部分もあります。その為 食 健 医をひっくるめた学問、細胞矯正（食）医学士の学問講座を生涯学習センターで開講平成22年の8月12日内閣府認証ありました。是非市の方でも応援して頂きたいです。20年間の活動が一応認められましたがこれから行政側の御協力がどうしても必要です。目標は健康人間を増やすことです。8月12日で日本細胞矯正普及協会。市川陽子委員の意見（気持）は良くわかる。傍聴の意見等も聞いた方が良かったのでは？